

平成 19 年 8 月 29 日

各位

会社名 アンジェス MG 株式会社
代表者 代表取締役社長 山田 英
(コード番号 4563 東証マザーズ)
問い合わせ先 社長室 マネージャー
林 毅俊
電話番号 03-5730-2480

HGF 遺伝子治療をカバーする基本特許成立(韓国)のお知らせ

当社は、韓国において HGF 遺伝子治療を広範にカバーする基本特許が成立し、8 月 16 日に特許公報 (KR10-0725199) が発行されたことをお知らせします。

本特許は、「HGF 遺伝子を含む発現ベクターを有効成分とする筋肉内投与用医薬であって、動脈疾患を治療するための医薬」を対象とするものであり、当社が現在開発中の末梢性血管疾患および虚血性心疾患はもとより、他の疾患への適応拡大も含め、当社の HGF 遺伝子治療薬の臨床開発プロジェクトを強力かつ広範にサポートするものです。

ここで本特許発明に使用される「HGF 遺伝子」とは、特許公報の詳細な説明に記載されているように、以下の意味を有します。

すなわち、「HGF を発現し得る遺伝子をいい、当該遺伝子には、発現されるポリペプチドが HGF と実質的に同効である限り、その遺伝子配列の一部が欠失又は他の塩基により置換されていたり、他の塩基配列が一部挿入されていたり、5'末端及び / 又は 3'末端に塩基が結合したような遺伝子も包含される。」

従いまして例え一部改変された遺伝子配列であっても、HGF 自体および HGF と実質的に同効な作用(血管新生)を有するタンパク質を発現させる遺伝子である限り、本特許に言う HGF 遺伝子に含まれることは言うまでもありません。

また、他地域においても、以下の通り対応特許が成立しており、当社は HGF 遺伝子治療薬の国際臨床開発にあたり、強力な特許網構築を図っております。

日本特許	第 3431633 号
米国特許	第 6248722 号
欧州特許	第 847757 号
豪州特許	第 745887 号
ニュージーランド特許	第 315769 号
台湾特許	第 165197 号

また、中国にも特許出願中

さらに、当社は、本基本特許の効力を一層強化するため、具体的な他疾患への用途についても順次追加特許出願しております。

HGF 遺伝子治療薬プロジェクトについては、まず、末梢性血管疾患を対象として国内での承認申請の準備を進めておりますが、将来は、他の疾患への適応拡大も含め、現在展開中の日本、米国のみならず、欧州や韓国を含めたアジア地域においても開発を推進したいと考えております。

以上